



一般
社団法人 電池工業会
BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <https://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <https://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

2026年1月号

新年賀詞交歓会を開催

一般社団法人電池工業会は、2026年1月9日（金）、東京プリンスホテルにて「2026年 新年賀詞交歓会」を開催した。また、これに先立ち同ホテル内の別会場で「2025年度 優良従業員表彰式/BAJ 活動表彰式」を実施した。



あけましておめでとうございます。

日頃より電池業界のご理解と発展に、ご厚情を
いただいております関係各位に対しまして、心より御
礼申し上げます。

それでは、僭越ではありますが、2026年の新春
を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

2025年は電池業界にとって大きな変化の年で

した。米国の関税政策による世界的な影響は記
憶に新しく、私たちは改めて柔軟な対応力の重要
性を痛感しました。

一方で、自動車のEV化は一時的に足踏みする
状況にあるものの、再生可能エネルギーの普及は
着実に進み、カーボンニュートラルへの道筋は確実
に前進しています。

しかし、資源価格の変動や地政学的リスクは依然として業界に重くのしかかっています。こうした厳しい環境下だからこそ、私たちは挑戦を恐れず、技術開発を加速し、電池のポテンシャルを向上させ、製品ライフサイクル全体での環境負荷低減も実現しなければなりません。電池工業会は、国際標準化への積極的な参画と規制緩和への提言を通じ、業界の持続的成長を力強く牽引して参ります。

さて、電池関連の目先の事業環境を見てみますと、カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギーの利用拡大が着実に進み、又、最近は少し動きが鈍化しているとはいえ、世界的に自動車の電動化が進む事は確実なトレンドでありますので、これらが電池業界への大きな追い風である事は、ゆるぎない状況であるものと思います。

そして、皆様ご承知おきの通り、「蓄電池の製造サプライチェーン強靱化支援事業」では、令和6年度補正予算の1,778億円を含めると、過去からの累積で1兆円を超える規模で蓄電池政策に係る予算化を頂いております。

これらにつきましては、経済産業省 電池産業課 青木（あおき）課長様をはじめ、関係者の皆さまからの多大なるご支援の賜物と考えており、改めて深く感謝申し上げます。我々電池工業会としても、この手厚いご支援に対し、しっかりと応えて行かなければなりません。

2022年8月迄、経済産業省様主催で、蓄電池産業/戦略検討/官民協議会が開かれておりましたが、2023年度以降、2025年度についても蓄電池産業/戦略推進会議にて、『蓄電池産業戦

略』の推進状況のフォローアップを行っていく形となっております。

簡単に BAJ としての取り組み中の内容の概略を述べさせていただきますと、

- (1) 長寿命かつ安全性の高い日本製電池の強みを反映させた国際標準化の策定推進
- (2) NITE 様との連携による定置用蓄電池の安全面・機能面に関する実証評価の推進
- (3) 消防庁様と連携した規制緩和等による国内電池製造環境の整備・強化への取り組み
- (4) 人材育成の全国的な体制である「バッテリー先進人材普及ネットワーク（BATON）」への対応

といった内容になっております。

引続き、定置用 LIB につきましては、本日まで出席頂いております、経済産業省 電池産業課様/資源エネルギー庁様/環境省様、消防庁様をはじめ、NITE 様、JEMA 様等の関係団体の皆様と連携を強化し 会員企業様と一緒に 普及促進を進めて参りますので、ご支援ご協力の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年、2026 年の干支『丙午（ひのえ・うま）』は、情熱と挑戦を象徴すると言われています。この勢いある年にふさわしい前進と変革を遂げるべく、会員の皆様とともに歩んでまいりたいと思います。

結びに、会員の皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。どうも有難う御座いました。

以上

優良従業員表彰/BAJ 活動表彰

新年賀詞交歓会に先立ち、2025 年度優良従業員表彰式/BAJ 活動表彰式が行われ、只信会長より各受賞者に賞状と記念品が授与された。

優良従業員表彰 受賞者（順不同、敬称略）

岡崎 浩	（エナジーウィズ株式会社）	山本 遼一	（エナックス株式会社）
岩崎 英樹	（F D K株式会社）	本郷 直行	（F D K株式会社）
井口 隆康	（エリーパワー株式会社）	川股 秀明	（株式会 AESC ジャパン）
稲本 勝	（株式会社 G Sユアサ）	廣田 正道	（株式会社 G Sユアサ）
穴戸 剛	（セイコーインスツル株式会社）	北本 道幸	（株式会社 東芝）
岡山 定司	（東芝ライフスタイル株式会社）	中尾 員昌	（パナソニックエナジー株式会社）
福田 耕治	（パナソニックエナジー株式会社）	増田 亮	（古河電池株式会社）
佐藤 政憲	（マクセル株式会社）	所 穂高	（三菱電機ホーム機器株式会社）
桑名 泰弘	（株式会社東北村田製作所）	白川 昭裕	（株式会社東北村田製作所）







BAJ 活動表彰 受賞者（順不同、敬称略）

川上 和幸 （パナソニックエナジー株式会社）

岡本 朋仁 （株式会社 GSユアサ）

野口 勲 （古河電池株式会社）



2025 年度 第 3 回一次電池部会を開催

2025 年 12 月 24 日（水）、植松部会長（セイコーインスツル株式会社）を議長に 2025 年度 第 3 回一次電池部会を Web 会議で開催した。開会に際して、植松部会長より BAJ 競争法コンプライアンス・ルールに則り、部会進行する旨の宣言がなされた。清水専務理事の挨拶、続いて前回議事録の確認後、各委員会代表者より、これまでの活動報告を行った。

1. 議事内容

（1）植松部会長の挨拶

2025 年最後の一次電池部会となります。師走と言われているように皆様の今期の着地見通しや来期の準備等お忙しく過ごされていると思います。各委員会での集まりや意見交換会を行う場合は、引き続き感染症対策と体調管理に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

（2）清水専務理事の挨拶

本日の部会は本年最後の開催となります。今年一年、部会活動にご協力いただき誠にありがとうございました。新年は、1 月 9 日に BAJ 賀詞交歓会を開催予定です。参加者は約 300 名を見込んでおり、経済産業省、環境省をはじめ、多くの関係者をお招きし、懇親の場としたいと考えております。その後、1 月中旬から 2026 年度事業計画の検討に入ります。各部会においても推進事項について十分にご検討いただき、次年度にしっかりとした事業計画を策定できるよう、ご協力をお願いいたします。

（3）審議事項

1) 各専門委員会の活動報告

① ボタン電池回収推進委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 回収実績（4～11 月）

・協力店数、回収依頼件数ともに微増

* 法改正に向けた活動

・廃棄物処理法改正に向け、環境省と打合せ。

② 器具委員会

資料を基に下記の報告があり承認された。

* 委員会開催実績について

* 活動状況

・BAJ ホームページ「携帯電灯の正しい使い方」の改訂審議

・「電池器具安全確保のための表示に関するガイドライン」の改訂審議

・委員会活動における視野拡大を目的とした視察研修会の検討

③ 資材委員会

資料を基に下記の報告があり承認された。

* 第 3 回 資材委員会の活動報告

・主要 4 材料（亜鉛・リチウム・ニッケル・コバルト）の需給動向、価格動向の確認

・コンプライアンス（下請法他）に関する意見交換

－ 公正取引委員会から公表された違反事例について

－ 改正下請法（取適法）について

・JOGMEC 様との意見交換会の報告

④ 消費者委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 活動報告

・支援物資の供給可能数の定期報告について

・「有事発生時の支援物資供給対応業務マニュアル」の改訂の報告

・視察研修会に関する報告

⑤ P L 委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 活動報告

- ・2024 年度一次電池重要クレーム情報まとめ
- ・NITE 速報/国民生活センター 事故情報の共有
- ・視察研修会の報告
- ・BAJ ホームページの「電池の正しい使い方」などの改訂検討

⑥ 技術委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

1.1 JIS 規格原案作成

- ・9/12 素案作成委員会開催済。改正原案を2月末提出予定。1.2 IEC/TC35（一次電池）関連規格
- ・IEC 60086-1 ED14 FDIS は2月予定，IS 発行は2026年4月から7月に変更。
- ・IEC 60086-2 水溶液系と非水溶液系に分割する規格が開発中。FDIS は2月，IS は7月予定。
- ・IEC 60086-4 ED6IS 発行済。TR60086-7DTR 回覧準備中。TR 発行26年4月見込。
- ・IEC 60086-5 ED6 CD 回覧済。CDV 5月，FDIS 27年1月，IS 27年4月予定。
- ・IEC 60086-6 ED2 水俣条約の法令更新を入力済。CD 12月予定。CDV 26年7月，FDIS 27年7月，IS 27年12月予定。
- ・IEC62281 ED5 に向け IEC 事務局から TC35、TC21、SC21A に Q 文書を回覧予定。

2.コイン形リチウム二次分科会

- ・IEC 61960-4 AMD1 ED2 CDV 承認、62133-2 誤飲対策参照先が61960-4 から60086-4に変更になりAMD 取り下げが決議された。
- ・IEC62133-2 ED2 CD2 のコイン形

二次電池の対象範囲に疑義が生じている点について、PL と打ち合わせを行い記述の見直しを行う事で合意した。

3.その他

誤飲事故調査アンケート

- ・3つの医学会への一次アンケートの結果，ご協力頂ける施設は74施設となった。二次アンケートは2026年1月30日締切で送付済。アンケート結果は26年4月頃公表予定。

26年度の委員会体制について

- ・2026年2月末で村田製作所が一次電池部会を退会，2025年度でマクセルがコイン形リチウム二次分科会を退会する為、規格開発体制について審議を行ったが、決まらず継続審議となった。

⑦ 国際環境規制総合委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

- * 海外出張：ICBR（9月@スペイン）、TWG+（10月@メキシコ）に参加。
- * リサイクル工場視察：J X 金属サーキュラーソリューションズ敦賀を訪問（11月）。
- * 地域別環境規制アップデート
 - ・欧州：ECHA が PFAS 制限提案の SEAC 意見書草案の公開協議に関する説明会を実施（10月）。
 - ・北米：ミネソタ州、ニューメキシコ州の PFAS 規制法実施規則の動向
 - ・中南米：コロンビア 使用済鉛蓄電池の収集・管理システムを規定する決議書
 - ・アジア：中国 RoHS、ベトナム EPR 法

⑧ 広報総合委員会

資料を基に下記の報告があり、承認された。

(1) PR 活動

- 1)コイン形・ボタン形電池の乳幼児誤飲事故防止
 - ・育児系アプリ“mamari”に11月4日、啓発記事を掲載。ページビュー数9,554回、クリック数は184回。
 - ・you tube 配信を12月3日～12

日に実施。

2)自動車用バッテリーの定期点検・買い替え促進

・you tube 配信を 12 月 3 日～12 日に実施。スキップが出来ない配信で見えていただく。年齢層やターゲット毎の広告を実施。

・11 月 25 日、プロ野球最優秀バッテリー賞を実施。

3)小型充電式電池の回収・リサイクル、廃棄時の注意喚起

・you tube 配信を 12 月 3 日～12 日に実施。ターゲティングを絞らず、幅広い層に見ていただく。

・ガジェット系 Youtuber によるショート動画を 12 月 15 日配信。

(2) キャンペーン

・11 月 11 日から 12 月 12 日の電池

月間を利用してクイズを実施。11 月 27 日現在、応募は 5,140 名。

(3) イベント活動

・9 月 27 日、静岡で電池フェスタを実施。310 名の親子に参加頂いた。

(4) 事務局報告

1)統計データ報告

2025 年度 10 月度までの販売数量・販売金額の自主統計について報告。

2)委員登録

2025 年度 電池工業会 一次電池部会 委員登録 (2025 年 12 月 9 日更新)

以 上

2025 年 12 月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	12日(金)	広報総合委員会	次年度 事業計画検討
	12日(金)	国際環境規制総合委員会	地域別アップデート、海外出張報告 他
	16日(火)	蓄電池設備整備資格者講習実施委員会	神奈川県会場の修了審査判定
二次電池部会	5日(金)	据置アルカリ分科会	IEC60622,60623改正内容確認
	5日(金)	自動車鉛分科会	SBA規格 G 0102 自動車用鉛蓄電池を使用する機器設計の技術指針 改正案審議
	8日(月)	自動車技術サービス分科会	新規リーフレット製作に関する打合せ
	8日(月)他	充電器分科会	JIS C 4402 改正審議
	12日(金)	電気車鉛分科会	SBA G0805電気車用鉛蓄電池－保守・取扱いの技術指針改正審議
	15日(月)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	広域331号変更申請準備、広域マニュアル作成
	15日(月)	PL委員会	(WEB開催)表示ガイドライン第7版 制作打合せ
	16日(火)	小形鉛分科会	SBA規格 G 0202 小形制御弁式鉛蓄電池－保守取扱いの技術指針 改正案審議
	16日(木)	据置鉛分科会	JIS C 8704-1 改正案審議
	19日(金)	用語分科会	「SBA規格票改正の手引き」一部改正審議
二次電池第2部会	2日(火)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池の普及強化に向けた戦略実現検討
	3日(水)	リユース規格分科会-リユース・リサイクル TF 合同会議	リユース規格に関する審議
	4日(木)	二次電池第2部会	各委員会からの報告および審議
	12日(金)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討
	15日(月)	据置LIB分科会	産業用LIBのIEC規格対応
	16日(火)	CFP規格分科会	産業用LIBのカーボンフットプリント規格対応
	17日(水)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応
	17日(水)	普及促進委員会	蓄電池の普及促進に関する提言検討
	17日(水)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池の普及強化に向けた戦略実現検討
	18日(木)	リチウム二次分科会	IEC62133-2 Ed2、61960-3 AMD審議、外部問い合わせ審議
	22日(月)	ニカドニッケル水素分科会	性能規格の改訂審議
一次電池部会	9日(火)	コイン形リチウム二次分科会	ISO TC114 会議出席報告、26年度分科会体制検討
	10日(水)	規格委員会	IEC60086-1,-2-1,-2-2、86-4、86-5審議
	11日(木)	規格委員会	IEC60086-6審議
	12日(金)	技術委員会	規格委員会、コイン形リチウム二次分科会からの報告
	24日(水)	一次電池部会	各委員会からの報告および審議

10 月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2025年 10月）

（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

「その他の乾電池」を削除する。（2013年経済産業省機械統計より）

2017年9月より経済産業省機械統計のアルカリ乾電池「単三」「単四」は公開されていません。

2022年1月より経済産業省の機械統計は「その他のアルカリマンガン乾電池」は「アルカリ乾電池計」に統合されました。

2022年7月より経済産業省の機械統計は「アルカリ蓄電池(ニッケル・水素電池)」「その他のアルカリ蓄電池」は「アルカリ蓄電池計」に統合されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	336,527	145,668	95%	107%	3,312,611	1,275,759	104%	99%
一次電池計	234,859	9,935	98%	102%	2,309,044	97,164	107%	105%
酸化銀電池	66,717	2,237	108%	118%	639,340	20,758	118%	124%
アルカリ乾電池計	85,985	3,360	90%	90%	898,424	35,482	97%	95%
単 三	—	—	—	—	—	—	—	—
単 四	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
リチウム電池	82,157	4,338	101%	106%	771,280	40,924	113%	108%
二次電池計	101,668	135,733	88%	107%	1,003,567	1,178,595	96%	99%
鉛電池計	2,893	23,624	109%	109%	24,054	196,001	104%	106%
自動車用	2,279	16,093	110%	114%	18,654	128,073	104%	108%
その他の鉛蓄電池	614	7,531	106%	100%	5,400	67,928	101%	104%
アルカリ蓄電池計	34,670	23,851	92%	96%	331,037	226,770	107%	79%
ニッケル水素	—	—	—	—	—	—	—	—
その他のアルカリ蓄電池	—	—	—	—	—	—	—	—
リチウムイオン蓄電池計	64,105	88,258	85%	110%	648,476	755,824	91%	105%
車載用	36,570	66,783	77%	106%	390,279	573,028	80%	99%
その他	27,535	21,475	99%	126%	258,197	182,796	117%	133%

10 月度電池輸出入実績（財務省貿易）

(2025年 10月)

(少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります)

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
			前年比	前年比			前年比	前年比
全電池合計（輸 出）	172,342	75,546	99%	109%	1,743,002	691,456	105%	105%
一次電池計	117,439	4,050	104%	105%	1,134,649	40,547	118%	115%
マンガン	1	0	－	－	61	3	－	－
アルカリ	16,021	352	159%	132%	111,362	2,559	116%	106%
酸化銀	58,019	1,603	103%	102%	574,336	16,491	120%	121%
リチウム	43,398	2,094	93%	104%	448,890	21,384	117%	113%
空気亜鉛	0	0	－	－	0	0	0%	0%
その他の一次	0	1	51%	4%	0	111	25%	29%
二次電池計	54,903	71,496	91%	109%	608,353	650,909	87%	105%
鉛蓄電池	170	1,462	96%	100%	1,367	12,222	99%	101%
ニカド	93	69	40%	85%	1,355	728	75%	110%
ニッケル鉄	0	0	－	－	0	0	－	－
ニッケル水素	9,117	14,990	79%	103%	94,932	151,737	88%	107%
リチウムイオン	31,258	50,750	85%	115%	391,206	440,157	81%	107%
その他の二次	14,265	4,224	124%	84%	119,494	46,065	118%	84%
全電池合計（輸 入）	142,070	51,190	88%	104%	1,295,123	462,483	106%	100%
一次電池計	133,993	2,743	88%	84%	1,214,265	26,917	106%	106%
マンガン	8,921	170	70%	82%	75,736	1,333	98%	101%
アルカリボタン	2,178	20	81%	73%	27,235	275	115%	112%
アルカリその他	104,755	1,558	88%	80%	929,650	14,926	106%	105%
酸化銀	93	8	56%	101%	1,637	95	101%	118%
リチウム	14,284	866	96%	87%	133,360	8,171	111%	123%
空気亜鉛	3,762	88	144%	125%	46,614	918	92%	90%
その他の一次	0	34	9%	150%	34	1,200	52%	65%
二次電池計	8,077	48,448	89%	106%	80,858	435,566	105%	99%
鉛蓄電池	851	5,155	85%	97%	8,384	52,287	103%	105%
ニカド	77	205	47%	149%	548	1,772	81%	83%
ニッケル鉄	0	0	－	－	0	0	－	－
ニッケル水素	2,157	530	104%	110%	17,726	4,432	98%	114%
リチウムイオン	4,913	37,790	84%	106%	53,479	346,839	107%	108%
その他の二次	79	4,767	451%	109%	722	30,236	620%	48%